



# 花見川中学校だより

令和7年度 12号 3月24日

## 令和7年度 第11回卒業証書授与式



### <式 辞> 校長

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この花見川中学校を巣立ってしまうことに寂しさを感じます。しかし、これまでにたくさんの思い出ができました。リーダーを中心に躍動し周囲に感動を与えてくれた体育祭。息の揃ったソーラン節はとでもかっこよく最高でした。一緒にいった修学旅行、成功を願ったテーマ曲「ハルカ」は今日の卒業式の退場曲にもなっていますね。どんなときも団結した姿は、今でも覚えています。私にとっても忘れられない曲です。合唱祭、下級生が憧れるようなハーモニーを響かせてくれたことはさすがでした。千葉県ナイスハーモニー賞は6年ぶりの受賞で、歌声の響く学校を千葉市にひろめてくれたのは嬉しかったです。行事だけでなく、ひたむきに授業に取り組む真剣な眼差しは、学校のあるべき姿を創り上げてくれました。そして、すれ違う時だけでなく、見かけたらどこからでも挨拶をしてくれたことはいつも元気をもらいました。また、部活動では、結果だけでなく、どんなときでも、最後まで諦めない姿に心を打たれたのは私だけではないと思います。

さて、このあと聞かせてくる卒業の歌「群青」は、福島県小高中学校の生徒たちと音楽教諭によって作られました。東日本大震災当時、中学1年生だった生徒たちは、津波で2名の仲間を失い、原発事故で故郷を離れなくていけない状況になりました。その子供たちの作文や発言などを書き留めていた言葉から先生が歌詞にしました。「明日も会えるのかな」という歌詞も、実際には放課後に話し込んでいた子供たちに、先生が「早く帰りなさい」と促したとき、生徒たちが「明日もう会えないかもしれないんだよ!」という言葉から生まれました。また、各地に避難していった仲間たちの写真を日本地図に貼って、友達の写真を貼りながら「こんな遠くにいるんだ」と泣き出した子もいました。すると、男の子が「空はつながっているからね」と言ったのです。彼の言葉は先生の心にずしんと響き、「君も同じ空 きっと見上げているはず」という歌詞になったそうです。卒業生の皆さん、3年間過ごした仲間との思い出や絆は、これからもきっと支えとなっていくはずです。苦しい状況の中でも、強い意志を持って未来へ向かって進んでください。「空はつながっています」

## <送 辞> 2年

私がこれから語る言葉は、ここにいる1、2年生の誰かの思いです。そして、全員の思いでもありません。

「おはようございます！」この一言で始まる、一日。先輩の声は、ひときわ大きく響き渡っていました。私たち後輩一人一人に、すれ違うたびに丁寧で、元気な挨拶をしてくれる先輩がいます。親身に相談に乗ってくれる先輩がいます。気にかけてくれる先輩がいます。適切なアドバイス、笑顔、励まし、私たちの心を支え続けてくださいました。リーダーとしての先輩は、頼もしく、尊敬しかありません。

「勝利」をつかむために「挑戦」して見つけたもの。それは、自分を超えた新しい自分でした。朝早くから声を出していた、応援団。全校の先頭に立って歩き続けていた、実行委員。「最高を」目指し続けた先輩。常により上を目指し、前を向いていた姿。「このメンバーで創り上げるのは、これが最後なんだよ」照りつける太陽、乾いたグラウンド、ひたすら前を見る頼もしい姿。一糸乱れない三年生のソーランは、その腰の低さは、大きなグラウンドの中で、感動の嵐を起こしました。最高の体育祭！いつまでも心が震え続けました

部活動。先輩は、弱音を吐かない。優しく、厳しくて、頼もしくて、かっこいい先輩。先輩のようになりたいくて、そのあとを追っていかうと心に決めました。灼熱の太陽の下で試合をしている先輩の目は真剣でした。その目に映っていたのはたった一つ！勝ち抜くこと。どんな状況でも最後まで全力で走る！追いかける！手を抜かない姿。弱音を吐かない姿。「落ち込んでいたら、できるもんもできないよ。」「元気だそ。」「楽しんで！勝つよ！」「あつという間に引退する日が来るよ。今を楽しもう。」「大丈夫。人は誰でも失敗するもんだよ。ここからだよ。」「悔しかったら、練習しよう。」「声をかけ続けてくれた先輩。見守り続けてくれた先輩。先輩がいたから、最後まで頑張り続けることができました。そんな先輩は私たちにとって、何よりも大きな存在でした。

木の葉が色付く季節。合唱祭の日がだんだんと、近づいてくる。聞こえてきたのは先輩たちの歌声。自分たちの歌声とは全く違うものでした。

そして迎えた、合唱祭。三年生の合唱にホールの空気が変わった。圧倒的な何か。心が震えた。レベルが違う。会場いっぱい先輩の歌が響き渡る。自信をもって歌っていました。思いを込めて歌っていました。合唱を愛していました。その歌は私たちの心に深く突き刺さっています。合唱後に涙する姿に、胸の奥が熱いもので溢れました。

太陽がしずみ、校庭の木々が影をなくす。今日は楽しかったな。明日も楽しいといいな……。様々な思いを胸に家路につく。先輩は何を思っているのでしょうか。どんな未来を夢見ているのでしょうか。未来への道を歩きながら一日の最後、別れを惜しむように。「さようなら！」「うん、また明日も！」ずっと私たちの前に立って温かく、厳しく導いてくれた先輩は、明日からもういない。私たちは、先輩のあとをつないでいくことができるだろうか。

僕には印象的な思い出があります。部活の帰り道月が出ていて、愛の言葉「月が、きれいですね」と言った先輩。それに大笑いをして帰った日のこと、心に残っています。なぜか忘れられないのです。とうとうこのときがきてしまいました。時を止めることはできません。数え切れないたくさんの思い出が浮かんできます。明日からは、私たちが前に立って進んでいきます。できるのか。大きな不安はありません。でも、先輩と過ごした日々。与えてくれたもの。この胸の中にあります。

笑顔がはじける先輩がいて、グラウンドを全力で走る先輩がいて、元気な声で「おはよう」と声をかけてくれる先輩がいて……。悩みを聞いてくれる先輩がいて。3年生たった一人で部活を守り続けた先輩がいた。

いよいよお別れのときがきました。ありがとう先輩！こんな先輩になりたい。そう思わせてくれた。憧れ続けさせてくれた。本当の感動を味わわせてくれた。心からこれからの活躍を祈ります。ありがとうございました。

## <答 辞> 卒業生代表

私たちは卒業に向けて、卒業生全員で、卒業への思いをつづりました。それを〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんが、まとめました。それが、ここで私たちが語る卒業への思いです。

朝、校門の前の道路を渡るとき、まっすぐな向こうに校舎が見える。今日も頑張ろう。やる気スイッチを入れる場所。季節が変わるごとに、その季節の花や木々で、全体が包まれる。通学路の道々に咲き誇る桜、廊下の窓からは、目の前に広がる桜に見守られてきた。部活の終わりに見る桜。風に揺れる桜。心に、残り続ける。

暑かった夏の照り付ける太陽に、乾いたグラウンド。私たちの汗を吸い込み、勝利への夢を支えた、千葉市一のグラウンド。第一・第二体育館 武道場 美術室 音楽室。部活動にかけた思いの、詰まったところ。

秋、学校中が金木犀の香りに包まれる。黄金色（こがねいろ）の大イチョウ、ぎんなん。花見川中は、昇る朝日も、沈む夕日も美しい。冬の朝、真っ赤に昇る朝日。二体への道、空が大きくてきれい、そして何とも言えない、朝焼け。

部活終わりにみんなを照らす光、とても優しくかった。極めつけは、特練後の窓から見える月。みんな大好きな景色。もう、見られなくなるんだね。

学校のあちらこちらに、それぞれの思い出がある。今日、私たちは卒業する。この3年間の重みは、一人一人違う。何が残せたのか。私たちの背中、後輩のみなさんにどう映っていたのか。その答えの一部を、〇〇さんの心のこもった送る言葉の中から、受け取りました。

史上最高の体育祭にする。それぞれが信じた 勝利。私たちは忘れない。あの日の景色、あの日の空気。あの日の友の顔を。一生懸命だった。力の限りだった。だって、自分たちの体育祭だから。全校のリーダーは、私たちだから。やり通した充実感、どんなものにもかえられない。応援団の青空に響き渡る声。かまへの緊張感。伸ばした指先。次々に渡されていくバトン、握りしめた手。その一つ一つが、私たちがここにいた確かな証になった。

困難だと思われたことも、やってみなければ答えは出ない。限られた時間。限られた空間。栄光をつかむためには、幾つもの大きく、厚い壁を乗り越えなければならなかった。苦しさに耐えてこそ、つかめるものがある。そして、汗や涙の尊さを知る。見慣れた放課後の練習姿。日々積み重ねる練習があつてこそ、明日の強さにつながる。そして、仲間の笑顔や自分の努力は 私たちに前に進む力を与えてくれた。部活動から得たものは、計り知れません。

忘れられない景色が、ある。自然教室。キャンドルサービスの炎の奥に揺れる、友の顔。東北への修学旅行。世界遺産。震災学習。今なお続く苦しみをなぞり、視野を広げる。世界を見つめる。美しい風景。歴史。そして、語り合った夜、忘れないね。

一人では 成長できなかつた。挑戦していく自分を、いつも誰かが支えてくれた。支えあつてきた仲間と、響かせた歌。歌うことは、心をつなぐこと。最後の合唱祭。心をついにすることは、生やさしいことではない。葛藤に次ぐ葛藤。こんなに熱くなれる自分たちが、いとおしい。どんな結果でも、悔いは残さない。その一瞬に、クラス全員の思いをかけた。感動は大きくなるとなると、会場全体を包んだ。一人ではない自分を発見したときから、集団で何かを創り出す意味を知る。

後輩の皆さん、私たちは皆さんに、先輩らしい姿を見せられたでしょうか。情けない姿を見せたり、頼りない姿を見せたりしたことも、あつたと思う。それでも、たくさん励ましてくれた。ついてきてくれて、ありがとう。なんととっても、部活動。夏の暑い中の、きつい練習。一緒にがんばったね。総体・コンクール前のピリピリした雰囲気。たくさんいらいらをぶつけた。八つ当たりしたことも、あつた。私たちは、後輩のみんなのことが、大好きです。一緒に闘ってくれて、ありがとう。受験期に入り、不安だったとき、後輩のみんなが応援してくれた。おかげで乗り切れました。

3年間はあつという間です。今を大切に。花見川中の伝統を守り続けてください。信じています。そして、この花見川中学校が世界一の学校になれるよう、頑張ってください。私たちはずっと応援しています。頼もしい後輩たち。出会えてよかった。心から、ありがとう。

いつも熱意をもって語ってくださった、校長先生。毎日早朝から校舎の外回りをめぐり、ゴミ拾いをしてくださいました。温かく見守り続けてくださったこと、胸に刻んでいきます。

先生、たくさん心配をかけました。先生たちは、我慢強く接し続けてくださいました。わかりやすく、工夫された授業。どの授業も楽しくて、面白くて、何より温かい。愛されているって、伝わっていました。伝統が詰まった行事を続けていけるのは、先生方の熱意があるからです。認めてくれた。助けてくれた。話を聞いてくれた。一緒に悩んでくれた。先生の顔を見ると、笑顔になれた。照れくさくて強がったりしたけれど、本当は、どれだけ感謝してもしきれません。この言葉しか言えないのですが、心を込めて、ありがとうございました。

家族へ 大切に育ててくれて、ありがとう。生まれてきてからの15年間。思春期の今、むかつくこと、たくさんあつたよね。一番の居場所は、家だった。辛いことがあつたときは寄り添ってくれて、楽しいことがあつたときには、自分のことみたいに、うれしそうに聞いてくれる。どんなに忙しくても、一番に考えてくれる。応援してくれる。だ

から、頑張ることができました。

感謝の気持ちをうまく言葉にすることができなかつたけれど、いつも支えられていました。反抗したこともあったし、やりあったこともあったけれど、いつのまにかまた、笑っていた。大好きです。産んでくれて、育ててくれて、ありがとう。感謝の思いをかみしめながら、大人への階段をのぼっていきます。いつの日か、何百倍にして返したいので、もう少し、大きな心で見守ってください。そして、みんな。三年間はあつという間だったね。三年生になってからは、特に早かった。一緒にいるだけで元気になれる仲間だった。ふざけあった帰り道、他愛のない話で盛り上がった休み時間、宿題のことなんて忘れて遊んだ 夏休み。何気ない時間が楽しかった。

みんなと過ごした教室。一番大切なところ。それぞれの胸に、たくさんの思い出が詰まっている。クラス全員で一つの目標に向かって、団結した。「うれしい」「くやしい」みんな、同じ気持ちを分かち合った。

笑い声が響く教室。みんながいる教室。そこにいるだけで、心が温かくなる。クラスが大好きで、学校に行けた。いつもは照れくさくて、なかなか言えないけれど、ありがとうの気持ちでいっぱいです。

みんなと過ごした日々は、宝物。毎日が本当に楽しかった。まだまだ一緒にいたいけれど、卒業です。私たちはそれぞれの道を歩いていく。ここで、たくさんのことを学んだ。今の熱い思いを胸に、「なりたい自分」に近づこう。大好きな友達。出会ってくれて、ありがとう。本当に、本当に、ありがとう。

おはよう、さようならの声の響く正門。踏みしめ、走り回った グランド。黙動、磨き上げた廊下。

心をあずけ、語り合った教室。私を受け止め続けた机と椅子。学び、見つめてきた黒板。

夕日に染まる校舎。一日何回かのチャイムの音。ここは私たちの母校。別れの時が来た。

花見川中学校でよかった。胸を張って卒業します。ありがとうございました。

#### <令和7年度末人事異動>

今年度末の定期異動により、9名の職員が転出・退職いたします。氏名等は以下のとおりです。詳細については後日、次年度の転入職員とともにお知らせいたします。

これまで各職員に、格別のご高配を賜りましたこと、深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

氏 名 (教科等)	備 考
校長 (保健体育)	転 出
教務 (理科)	転 出
(英語)	転 出
(社会)	転 出
(技術)	転 出
(数学)	転 出
(国語)	転 出
(英語)	転 出
(保健体育)	転 出

#### <表 彰>

##### <女子ハンドボール部>

○1月11日 千葉市中学校1年生ハンドボール大会 第3位

○1月25日 千葉県中学校1年生ハンドボール大会 準優勝

##### <水 泳>

○3月1日 千葉市中学校新人スポーツ大会 水泳競技の部

2-1 50M バタフライ 第3位

1-3 50M 平泳ぎ 第5位

##### <女子バスケットボール>

○3月7日 花見川区交流バスケットボール大会 準優勝

#### ◎保健体育課からの連絡

令和7年度第9期給食費の口座振替(3月25日(水)実施)ができなかった方に、4月15日(水)に再振替を行います。前日までに必要な金額を登録口座にご用意ください。

(学校給食費に係るお問い合わせ 市保健体育課 電話 245-5909)